

1 巻頭エッセー／「やらまいか精神」のDNAが根付く「出世の街・浜松」 鈴木康友（浜松市長）

特集

農業遺産と地域づくり

| | | | |
|--------|-------|-----------------------------|--|
| 2 | 基調論文 | 農業遺産を地域づくりに生かす | 武内和彦（東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構構成員・特任教授 国連大学サステイナビリティ高等研究所上級客員教授） 永田 明（明治大学サステイナビリティ高等研究所） |
| 世界農業遺産 | | | |
| 4 | | 新潟県佐渡市 | 未来に伝えるトキと共生する佐渡の里山 西牧孝行 |
| 6 | | 石川県能登地域 | 世界農業遺産認定で能登のブランド力向上 山下吉明 |
| 8 | | 静岡県掛川周辺地域 | 茶草場農法で高品質の茶を生産 西川 博 |
| 10 | | 宮崎県高千穂郷・椎葉山地域 | 森林面積9割の山間地で農林業複合経営 甲斐宗之 |
| 日本農業遺産 | | | |
| 12 | | 宮城県大崎地域 | 巧みな水管理による水田農業 高橋直樹 |
| 13 | | 埼玉県武蔵野地域 | 江戸時代から三百年続く「武蔵野の落ち葉堆肥農法」 打田欽也 |
| 14 | | 三重県鳥羽・志摩地域 | 歴史ある鳥羽・志摩の海女漁と真珠養殖 石原義剛 |
| 15 | | 徳島県にし阿波地域 | 傾斜地農業を生かした地域づくり 緒方 涼 |
| 16 | 副基調論文 | 農業遺産という新たな「公共」を核に持続可能な社会を創造 | 大和田順子（一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表 世界農業遺産・地域遺産推進協議会） |
| 18 | 解説 | 世界農業遺産と日本農業遺産 | 木下正人（農林水産省農村環境課 農村環境対策室長） |

【特集編では基調論文、全16農業遺産を全て掲載～特集編のみに掲載される遺産は以下の通り】

世界農業遺産

- 岐阜県長良川上中流地域 長良川の鮎と産業・文化が一体に 赤地昭弘
- 和歌山県みなべ・田辺地域 梅林と薪炭林で里山景観、生物多様性を保全 林 祐光
- 熊本県阿蘇地域 草資源の循環利用で持続的農業を展開 園村道明
- 大分県国東半島宇佐地域 クヌギ林とため池がつなく農林水産循環 林 浩昭

日本農業遺産

- 山梨県峡東地域 盆地に適応した山梨の複合的果樹システム 中村正樹
- 新潟県中越地域 雪の恵みを生かした稲作・養鯉システム 戸田幸正
- 静岡県わさび栽培地域 静岡水わさびの伝統栽培 大平美波子
- 三重県尾鷲・紀北地域 急峻な地形と日本有数の多雨が生み出すヒノキ林業 瀧田長宏

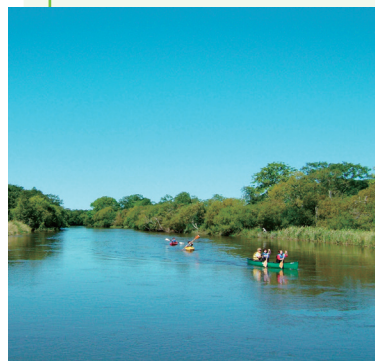
レギュラーレポート

- 20 移住・定住・交流推進支援事業 香川県観音寺市 観音寺の魅力再考「つなぐ・もどる。」 薄谷司郎
- 22 海外調査報告 アメリカ・ポートランド 地元志向「ローカルファースト」について
- 23 海外調査報告 インドネシア 伝統文化と自然環境を生かした学校教育
- 24 平成29年度第1回土日集中セミナー 世界に認められたSAKEから学ぶインバウンド戦略
- 25 書籍紹介

- 26 地域づくりの現場から NPO法人 いしかり海辺ファンクラブ 北海道石狩市 素晴らしい石狩海岸を次世代へ引き継ぎたい！ 石井滋朗
- 28 広報室だより 頑張る地域に 寄り添い 応援します！ 首長の思い
- 29 「共に育み 共に創り 共に生きる 愛と活力にあふれたまちづくり」 萩原達雄（宮城県大衡村長）
- 32 センター通信

グラビア

- 30 都道府県漫遊 【鹿児島県】
- 31 手前みそですが… 【愛知県長久手市】



湿原を流れる釧路川でのカヌー

問い合わせ先 釧路市環境保全課
（0154・311・4594）
（写真提供 釧路市環境保全課）

● 報名 大也
釧路湿原国立公園指定30周年記念事業実行委員会 会長・釧路市長

釧路湿原が我が国28番目の国立公園に指定され、今年で30周年を迎えます。昭和40年代の「自然が開発か」といった高度経済成長期に、多くの地域住民や地域の研究者による湿原の基礎研究が進められました。昭和47年には地元の各界・各層の団体による釧路湿原対策特別委員会が保全を基本原則とした「釧路湿原の将来」を取りまとめました。この基本原則を基に、様々な方々の努力により、昭和62年7月31日に国立公園の指定を受けました。

指定後は、保護と保全、適切な利用に向けて、湿原を保有する関係市町村と環境省、北海道が連携し、ガイドラインとしてマスタープランをまとめ、ビジターセンターをはじめとする自然観察施設等の設置や運営を行ってきました。

平成15年には自然再生法に基づく釧路湿原自然再生協議会が誕生し、現在、湿原を元の姿に戻すための、国内第一号の再生事業が釧路湿原で実施されております。

指定日の7月31日には釧路で記念シンポジウムを開催します。みなさんと一緒に30周年を祝うとともに、あゆみを振り返り、現在と未来の湿原について考えたいと思います。記念すべき今年、是非夏の釧路湿原にお越しになりませんか。

表紙 釧路湿原国立公園指定30周年を祝して

（北海道釧路市）

地域づくり

特集編 (2017.7)

ISSN 1340-8917

特集 農業遺産と地域づくり

グラビア

- | | | | | |
|---------------|--------------|-----------------------------|---|-------------------------------|
| 2 | 基調論文 | 農業遺産を地域づくりに生かす | 武内和彦 (東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構機構長・ 特任教授 国連大学サステナビリティ高等研究所上級客員教授) | 西牧孝行 |
| | | | 永田 明 (国連大学サステナビリティ高等研究所 シニア・プログラム・コーディネーター) | |
| 世界農業遺産 | | | | |
| 4 | 新潟県佐渡市 | 未来に伝えるトキと共生する佐渡の里山 | | 山下吉明 |
| 6 | 石川県能登地域 | 世界農業遺産認定で能登のブランド力向上 | | 西川 博 |
| 8 | 静岡県掛川周辺地域 | 茶草場農法で高品質の茶を生産 | | 赤地昭弘 |
| 10 | 岐阜県長良川上中流域 | 長良川の鮎と産業・文化が一体に | | 林 祐光 |
| 12 | 和歌山県みなべ・田辺地域 | 梅林と薪炭林で里山景観、生物多様性を保全 | | 園村道明 |
| 14 | 熊本県阿蘇地域 | 草資源の循環利用で持続的農業を展開 | | 林 浩昭 |
| 16 | 大分県国東半島宇佐地域 | クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環 | | 甲斐宗之 |
| 18 | 宮崎県高千穂郷・椎葉山地 | 森林面積9割の山間地で農林業複合経営 | | |
| 日本農業遺産 | | | | |
| 20 | 宮城県大崎地域 | 巧みな水管理による水田農業 | | 高橋直樹 |
| 21 | 埼玉県武蔵野地域 | 江戸時代から三百年続く「武蔵野の落ち葉堆肥農法」 | | 打田欽也 |
| 22 | 山梨県峡東地域 | 盆地に適応した山梨の複合的果樹システム | | 中村正樹 |
| 23 | 新潟県中越地域 | 雪の恵みを生かした稲作・養鯉システム | | 戸田幸正 |
| 24 | 静岡県わさび栽培地域 | 静岡水わさびの伝統栽培 | | 大平美波子 |
| 25 | 三重県鳥羽・志摩地域 | 歴史ある鳥羽・志摩の海女漁と真珠養殖 | | 石原義剛 |
| 26 | 三重県尾鷲・紀北地域 | 急峻な地形と日本有数の多雨が生み出すヒノキ林業 | | 濱田長宏 |
| 27 | 徳島県にし阿波地域 | 傾斜地農業を生かした地域づくり | | 緒方 涼 |
| 28 | 副基調論文 | 農業遺産という新たな「公共」を核に持続可能な社会を創造 | 大和田順子 (一般社団法人Oパス・ビジネス・アライアンス 共同代表 世界農業遺産専門家会議委員) | |
| 30 | 解説 | 世界農業遺産と日本農業遺産 | | 木下正人 (農林水産省農村振興課 農村環境対策室長) |
| 32 | トピックス | 目指せ男性のライフスタイル革命 | | 東 浩司 |

2017年7月1日発行 編集・発行＝一般財団法人地域活性化センター ©2017 jcrd.jp

東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階 電話03-5202-6131 (代) <https://www.jcrd.jp/> 印刷・製本／株式会社太平印刷社

本誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです

